



尾久西だより

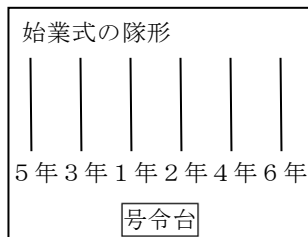
荒川区立尾久西小学校
発行日 令和3年1月8日
発行者 校長 芝田智昭

No. 356 1月号

立場が人をつくる

令和3年が幕を開け、学校には子どもたちの元気な声もどってきました。今年も一人ひとりの子が自分らしく輝けるよう、教職員一丸となって指導の充実に努めてまいります。保護者・地域の皆様には、昨年同様のご理解・ご支援を引き続きよろしく願いいたします。

表題に掲げた「立場が人をつくる」とは、一般的には、組織の中での役割や集団内での位置付けが困難なものに変化すると、能力や意識が相応に高まっていくという意味で使われます。私はこのことは小学校でもあてはまると考えています。学年が進むにつれ、求められる力や自覚は変わっていくからです。



今日の始業式で、「立場」の本来の意味である「立つ場所」について子どもたちに語りかけました。こんな話です。

“今日は4月以降にみなさんが立つ場所についてお話をします。6年生は、4月以降尾久西小に立つ場所はありません。進学した中学校で決められた場所に立つことになります。中学生として自信をもって背筋を伸ばして立てるよう、残り3か月の小学校生活を有意義に過ごしてください。5年生は6年生の場所に立ちます。尾久西の伝統を引き継ぎ、学校を引っ張っていく自覚と責任をもたなければなりません。4年生は5年生の場所です。高学年として左側に並ぶ下級生をリードし、6年生とともに学校を支えます。

3年生は4年生、2年生は3年生の場所へ移ります。新しい学年での勉強や運動に毎日一生懸命取り組んでください。最後に、1年生はとなりの2年生の場所になります。今みなさんがいる場所には、4月になると新入生が立っています。先輩としてたくさんの方を教えてあげてください。

3年生は4年生、2年生は3年生の場所へ移ります。新しい学年での勉強や運動に毎日一生懸命取り組んでください。最後に、1年生はとなりの2年生の場所になります。今みなさんがいる場所には、4月になると新入生が立っています。先輩としてたくさんの方を教えてあげてください。

このように、立つ場所が変わると気持ちを変えなくてはならないし、身に付けなければならない力も増えます。今年度の残り3か月、4月からの新しい学年を見据えて学校生活を送りましょう。”

立場にふさわしい行動・言動に高めるのは、学校の責務だと考えています。新年にあたり、教職員一人ひとりが自らの職責を改めて認識し、子どもの成長を後押しできるような力を尽くしてまいります。

【尾久西小ホームページのQRコード】

学校からの情報を随時発信しているので、是非ご覧ください。

サイトに入ったら、左下のパソコンマークをクリックしてください。

